

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-2-1	4-4-3	事業名	中央体育館改築事業
担当	観光文化局スポーツ部施設課 淡路 TEL 211-3045			
全体計画				
事業内容	中央体育館は老朽化が著しく、耐震補強も必要なことから、近年の多様なスポーツニーズに対応し、多くの市民に利用しやすい施設を目指して、改築に向けた事業計画の策定や調査を実施する。		＜年度別の事業内容＞	
			平成19年度～平成21年度 平成22年度	事業計画の策定 改築事業開始(調査)
事業内容 ・量 ・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>立案、調査 (予算配分なし)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画の策定 (予算配分なし) スポーツ部内部でプロジェクトを立ち上げ、改築に向けた調査及び建設規模等を検討し、基本コンセプトを整理した。 建設規模や環境対応設備等導入等を見直したため延床面積、用地取得費、工事費等について当初作成した案から変更した。</li> </ul>	
事業内容 ・規模 ・件数 等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画の策定 (予算配分なし) 建設規模、建設地等の検討を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画の策定 (予算配分なし) 建設規模、建設地等の検討を行った。</li> </ul>	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-2-1	4-4-3		事業名	中央体育館改築事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
整備計画策定と調査実施	—	立案、調査	調査、建設規模等の検討	調査、建設規模等の検討	調査、建設規模等の検討	計画策定と調査完了	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 (該当なし) 今後、利用者アンケート調査、パブリックコメント等を行う予定</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>札幌市スポーツ振興審議会に今後のスポーツ施設のあり方について諮問し、中央体育館についても答申を受けた。</p> <p>答申では、中央体育館は各区体育館と比較すると大会等による専用利用が多いものの、全市・全道規模のスポーツ大会やイベントを開催できるだけの規模や設備がないため、早期に総合的なスポーツ施設としての機能を拡大・充実させた総合体育館が必要であること。また、その機能を果たすにふさわしい交通アクセス等の利便性についても十分配慮することが必要であるとの提言がなされた。</p> <p>本答申を踏まえ、総合体育館としての機能や交通アクセス等の利便性、建設規模、建設地について検討を行った。</p>			<p>中央体育館は、昭和41年の開館以来、各種公式競技大会に利用されることが多く、本市屋内スポーツの中心的な役割を担ってきたが、築40年以上を経過し施設、設備の老朽化が著しく、利用者に多大な不便を強いている。更に観覧席(500席)及び駐車場(40台)が施設規模に比較して少なく、全市・全道規模の競技大会には対応しきれていない。</p> <p>また、本施設の耐震指標(Is値)は0.21で、震度6強程度の地震で崩壊、倒壊する危険性が高いとされる0.3を下回っている状況にあり、市民への安全な供用、災害時の避難場所としての観点からも早急な対応が求められている。</p> <p>このため、耐震基準を満たし、国際大会や全国大会が開催可能な新たなスポーツ交流拠点としての総合的体育館の建設を行う必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>平成23年度 基本構想策定</p> <p>平成24年度 基本設計</p> <p>平成25年度 実施設計</p> <p>平成26年度 工事</p> <p>平成27年度 工事、新中央体育館オープン</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-2-1	4-4-3		事業名	中央体育館改築事業				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			—	—	—	—	—		
	財源内訳	国・道	支出金							
		市	債							
		その他の	財源							
予算	事業費			0	0	0	0	0		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他の	財源	0	0	0	0	0		
実績	事業費			0	0	0	0	0		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他の	財源	0	0	0	0	0		
事業費の進捗率				(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)						—
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》 [19年度] [20年度] [21年度] [22年度]建設規模、建設地等の検討を行った。										